

「現場セミナー2017 in おきなわ」

「戦争と福祉 ～沖縄を考える Part 1～ 平和の文化を育てるために」



日程:2017年2月18日(土)～19日(日)

場所:1日目・沖縄大学2日目・歴史探訪「久高島」

主催:日本福祉文化学会、沖縄福祉文化を考える会



セミナー趣旨

沖縄で開催される現場セミナーは、2005年以来、なんと12年ぶりです。日本は、一昨年「戦争法」が強行採決され、「戦争する国」へと舵を切りました。戦争が「民の暮らし」「その地に根付く文化」を破壊してしまうことを、日本は忘れてしまったのでしょうか？学会は昨年、「福祉を破壊する戦争法の廃止を求める日本福祉文化学会声明」を理事会声明として意思を表明しました。さらに、2016年度の東京大会では「戦争と福祉文化」というテーマで分科会を企画し、論議を展開いたしました。沖縄での現場セミナーでは、その動きを受け、参加者の皆さま方とさらなる論議を深め、学会の原点である「平和なくして福祉なし」を再認識する場としたいと考えております。

協賛:後援(案)

- ・『戦争と福祉についてみんなで考える会』
- ・NHK沖縄放送局 ・沖縄タイムズ ・琉球新報
- ・沖縄県社会福祉協議会

セミナースケジュール

日時	予定
2月18日(土) 12:00～	受付開始 場所: 沖縄大学 3号館101教室
13:10～13:20	開会の挨拶 日本福祉文化学会 会長 馬場 清 「沖縄福祉文化を考える会」会長 佐久本 真智子
13:20～14:50	基調講演 テーマ: 戦争と福祉～今なお引きずる沖縄戦と米軍占領～ 講師: 山城紀子氏 (フリージャーナリスト)
15:00～17:00	シンポジウム テーマ 「戦争と福祉～沖縄を考えるPart 1～ 平和の文化を育てるために」 シンポジスト 山城紀子氏 (フリージャーナリスト) 仲地 博氏 (沖縄大学 学長) 浅井春夫氏 (立教大学 教授) 結城俊哉氏 (立教大学 教授) コーディネーター 園田碩哉氏 (日本福祉文化学会顧問)
18:30～20:30	懇親交流会 (場所: 那覇セントラルホテル)
2月19日(日) 9:00～未定	場所: 沖縄歴史探訪 久高島 (沖縄発祥の地といわれている神の島)
セミナー参加費 懇親交流会参加費	1000円 3000円 ※歴史探訪は実費

アクセス



バスを「利用」の場合

- 市内線 ◎那覇バス 6 (那覇おもろまち線) → バス停より沖大まで 徒歩0分
- 市外線 ◎沖大バス 35 (志多伯線) 100 (白川線) 40 109 (大里線) → 「沖大前」バス停 下車 徒歩0分
- 那覇バスターミナルより乗車 235 (志多伯おもろまち線)
- 市内線 ◎那覇バス 2 (龍名開南線) 4 (新川おもろまち線) → 「真和志小学校前」バス停 下車 沖大まで徒歩7分

モノレールをご利用の場合

- 那覇空港から約18分 → 安里駅 → 車・タクシーをご利用の場合: 約8分 → 沖大
- 徒歩の場合: 約20分 → 沖大

お問合せ

- ・沖縄福祉文化を考える会: 事務局・安里和子
住所: 〒904-0103 沖縄県北谷町桑江478-12
TEL & FAX: 098-936-5568 携帯: 090-3199-4510
- ・岡村ヒロコ:
携帯: 090-9995-9694
E-mail: h-watashi.4.25@eto.eonet.ne.jp
- ・日本福祉文化学会のHP: <http://www.fukushibunka.net/>

【講師のプロフィール】

★山城紀子氏

沖縄那覇市生まれ。1974年沖縄タイムス入社。学芸部、社会部記者を経て、学芸部長、編集委員、論説委員を歴任。2004年退社。現在はフリーのジャーナリスト。医療や福祉、ジェンダーなどをテーマに取材。98年連載「共生社会を拓く」で新聞労連大賞優秀賞、同年著書「心病んでも」で平和・協同ジャーナリスト基金奨励賞を受賞。主な著書に「老いをみる」「心病んでも」(ニライ社)、「あきらめないー全盲の英語教師と座健作の挑戦」(風媒社)、「〈女性記者〉の眼」(ボーダーインク)、「人を不幸にしない医療」(岩波現代文庫)、「沖縄ー社会を拓いた女たち」(共著 沖縄タイムス)などがある。

★仲地 博氏(沖縄大学学長)

専攻は憲法・行政法。前任校、琉球大学では35年勤務。教養部、学部、研究科(大学院)、法務研究科(専門職大学院)と、すべての大学教育の形態を経験。その後、沖縄大学に転じ現職。「地域共創・未来共創」の教育理念のもと、地域を支える中軸となる人材の育成に取り組んでいる。若いころはドイツ公法学の研究を志し、「シンドラー・憲法と社会構造」(有信堂刊)の翻訳をしたこともあるが、最近は沖縄に軸足を置いて地方自治を研究している。日本公法学会、全国憲法研究会、財政法学会、自治体学会などに所属。主な著書に『オキナワと憲法』法律文化社、『憲法政治』敬文堂、『憲法と社会構造』有信堂、『オキナワを平和学する』法律文化社など多数。

★浅井春夫氏

立教大学コミュニティ福祉学部教員。児童養護施設の児童指導員として12年間勤務専門分野は、児童福祉論、セクソロジー(人性学)。現在、「人間と性」教育研究協議会代表幹事。『季刊SEXUALITY』編集委員、全国保育団体連絡会副会長。今、進めている研究は、戦中戦後の沖縄における孤児院、戦争孤児たちの戦後史である。主な著書に、『沖縄戦と孤児院～戦場の子どもたち』(吉川弘文館)、『戦争をす国・しない国～ふくしの思想と福死の国策』(新日本出版社)など。

★結城俊哉氏

立教大学コミュニティ福祉学部教員。ノーマライゼーション論、障害者福祉論、ケア論を中心に、最近は障害者の「生活の質(QOL)をめぐる支援方法」としてエイブルアートやアウトサイダー・アート(=アール・ブリュット)等の当事者の自己表現活動を研究している。主な単編著に『生活支援の障害者福祉学』(明石書店)、『ケアのフォークロア:対人援助の基本原則と展開方法を考える』(高菅出版)、(共著)『戦争と福祉についてボくらが考えていること』(本の泉社)など。現在、日本福祉文化学会評議員。

★藺田碩哉氏

(財)日本レクリエーション協会でレクリエーション運動に携わり、実践女子短大教授として余暇論、遊戯論を軸に、福祉レクリエーションやコミュニティ活動の研究を続け、著書多数。近年は余暇と政治的自由の関わりを論じている(『余暇という希望』2012年)。日本福祉文化学会を一番ヶ瀬康子会長とともに創設、長く副会長を務め、現在は顧問。今年6月に学会が反安保声明を出した折には宣言文の起草に関わった。地域で反原発、反安保の活動を続けている。

＜キリトリセン＞

セミナー参加申込書 (申込み締切: 2017年1月31日)				申込日: 年 月 日 ()	
お申込み代表者氏名 (ふりがな)		所属先(学校・団体名・職場)			
		住所 〒			
電話	FAX		E-mail		
ふりがな お申込者氏名	区分	セミナー 2月18日	歴史探訪 2月19日	懇親交流会	Fax送付先、または郵送先
(例) とうきょう はなこ 東京 花子	学生・会員 非会員	○	×	○	申込み方法: 申込書に必要事項 (氏名・連絡可能な電話番号・ Eメール・参加申し込みくセミナー・ 歴史探訪・懇親会)を記入の上、 1月30日までに下記住所・FAX番号まで、 郵送またはFAXでお申込みください。 「沖縄福祉文化を考える会」事務局 安里和子、 住所: 〒904-0103 沖縄県北谷町桑江478-12 FAX: 098-936-5568
	学生・会員 非会員				
セミナー参加費	懇親交流会参加費		合計(当日支払)		
1,000円 ×	人	+	3,000円 ×	人	= 円